

慶應義塾大学試験問題用紙（日吉）

				試験時間	50分	分
平成 26 年 1 月 21 日 (火) 3 時限施行				学部	学科	年 組
担当者名	服部 哲弥 君	学籍番号				
科目名	線形代数続論	氏 名				
				採 点 欄		

注意： 解答は答案用紙の表がわに収めること．答えだけでよい．

問 1 . 3次元ベクトル  $\vec{a} = \begin{pmatrix} 3 \\ -2 \\ 1 \end{pmatrix}$  および  $\vec{b} = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 2 \end{pmatrix}$  について以下の小問に答えよ．

- i)  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$  が 1 次従属になる 3 次元ベクトル  $\vec{c}$  のうちで,  $\vec{a}, \vec{b}$ , および零ベクトル  $\vec{0}$  以外のものを 1 つ答えよ．答案用紙は答だけを書け．
- ii)  $\vec{a}, \vec{b}$  が生成する線形空間 ( $\mathbb{R}^3$  の部分空間) を  $W$  とおくととき,  $W$  の次元  $\dim W$  を求めよ．答案用紙は答だけを書け．
- iii)  $W$  の  $\mathbb{R}^3$  における直交補空間  $W^\perp$  の基底を 1 組求めよ．答案用紙は答だけを書け．
- iv)  $\vec{a}, \vec{b}$ , および, 最初の小問で答えた  $\vec{c}$  を並べた 3 次正方行列を  $A = (\vec{a} \ \vec{b} \ \vec{c})$  とおく． $A$  を係数行列とする同次 1 次方程式  $A\vec{x} = \vec{0}$  の解空間を  $V = \{\vec{x} \in \mathbb{R}^3 \mid A\vec{x} = \vec{0}\}$  とおくととき,  $\dim V$  を求めよ (なお, この小問は最初の小問が正解の場合のみ採点する.)

問 2 .  $\vec{a} = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 2 \end{pmatrix}, \vec{b} = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 3 \end{pmatrix}, \vec{c} = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}$  とおく．以下の小問 i)–vi) に答えよ．

- i)  $\vec{a}$  を規格化して (ノルム  $\|\vec{a}\|$  で割って) 得られるベクトルを  $\vec{u}_1$  とおく． $\vec{u}_1$  を計算せよ．答案用紙は答  $\vec{u}_1$  だけを書け．
- ii) 小問 i) の  $\vec{u}_1$  が生成する ( $\mathbb{R}^3$  の中の) 1 次元部分線形空間を  $W_1$  とおく． $\vec{b}$  の  $W_1$  への正射影を  $\vec{b}$  から引いたベクトルを, さらに規格化して得られるベクトルを  $\vec{u}_2$  とおく． $\vec{u}_2$  を計算せよ．答案用紙は答  $\vec{u}_2$  だけを書け．
- iii) 小問 i) の  $\vec{u}_1$  と小問 ii) の  $\vec{u}_2$  が生成する  $\mathbb{R}^3$  の中の部分線形空間を  $W_2$  とおく． $\vec{c}$  の  $W_2$  への正射影を  $\vec{c}$  から引いたベクトルを, さらに規格化して得られるベクトルを  $\vec{u}_3$  とおく． $\vec{u}_3$  を計算せよ．答案用紙は答  $\vec{u}_3$  だけを書け．
- iv) 小問 i)–iii) の  $\vec{u}_i$  たちを横に並べた 3 次正方行列を  $P = (\vec{u}_1 \ \vec{u}_2 \ \vec{u}_3)$  とおく． $P$  の転置行列  ${}^tP$  と  $P$  の積  ${}^tPP$  はどういう行列になるはずかを答えよ．答案用紙は (言葉や変数を使わず) 9 個の数を並べた正方行列だけを書け．

v) 実定数  $a$  と  $b$ , および小問 iv) の  $P$  を用いて  $A = P \begin{pmatrix} 4 & 0 & 0 \\ 0 & a & 0 \\ 0 & 0 & b \end{pmatrix} {}^tP$  とおく． $E$  を 3 次元

単位行列として,  $A$  の固有多項式  $\phi(t) = |tE - A|$  を計算すると  $\phi(t) = t^3 - \alpha t^2 + \beta t - \gamma$  と書ける． $\alpha, \beta, \gamma$  を計算してそれぞれ  $a$  と  $b$  で表せ．答案用紙は答だけを書け．

- vi) 小問 v) の  $A$  の, ある固有値に対する固有空間の次元が 3 になるとき,  $a$  と  $b$  を求めよ．答案用紙は答だけを書け．

問1 (40=10\*4) .

i) 例:  $\begin{pmatrix} 5 \\ 0 \\ 5 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -3 \\ 2 \\ -1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 4 \\ -1 \\ 3 \end{pmatrix}$  など ( $\vec{a}, \vec{b}, \vec{0}$  以外で,  $x, y, z$  が  $z = x + y$  を満たす

$\begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$  はすべて正解.)

ii)  $\dim W = 2$  【 $W$  を生成する  $\vec{a}, \vec{b}$  は 1 次独立なので  $W$  の基底】

iii) 例:  $\begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}$  など (零ベクトル以外の  $\begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}$  に比例するベクトルはすべて正解.)

【 $W^\perp = \{\vec{x} \in \mathbb{R}^3 \mid (\vec{a}, \vec{x}) = (\vec{b}, \vec{x}) = 0\} = \{\vec{x} \in \mathbb{R}^3 \mid {}^t(\vec{a} \ \vec{b})\vec{x} = \vec{0}\} = \text{Ker } {}^t(\vec{a} \ \vec{b})$ 】

iv)  $\dim V = 1$  【 $\dim V = \dim \text{Ker } A = 3 - \text{rank } A = 3 - 2$ 】

問2 (60=10\*6) .

$$i) \frac{1}{3} \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \frac{1}{3} \\ \frac{2}{3} \\ \frac{2}{3} \end{pmatrix}$$

$$ii) \frac{1}{\sqrt{2}} \begin{pmatrix} 0 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ -\frac{\sqrt{2}}{2} \\ \frac{\sqrt{2}}{2} \end{pmatrix}$$

$$iii) \frac{1}{\sqrt{18}} \begin{pmatrix} 4 \\ -1 \\ -1 \end{pmatrix} = \frac{1}{3\sqrt{2}} \begin{pmatrix} 4 \\ -1 \\ -1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \frac{2\sqrt{2}}{3} \\ \frac{\sqrt{2}}{3} \\ -\frac{\sqrt{2}}{3} \end{pmatrix}$$

$$iv) \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \text{ 【シュミットの直交化を行ったベクトルを並べたから } P \text{ は直交行列】}$$

$$v) \alpha = a + b + 4, \beta = ab + 4a + 4b, \gamma = 4ab \text{ 【}\phi(t) = |P({}^t E - {}^t P A P) {}^t P| \\ = |P| |{}^t E - {}^t P A P| |{}^t P| = |P| (t-4)(t-a)(t-b) |{}^t P| = |{}^t P P| (t-4)(t-a)(t-b) \\ = t^3 - (a+b+4)t^2 + (ab+4a+4b)t - 4ab \text{】}$$

$$vi) a = b = 4$$